

公共施設の適正な配置に関するワークショップ かわらばん

2024年5月 発行
佐倉市 資産経営部 資産経営課
☎ 043-484-6110 ✉ fm@city.sakura.lg.jp

全体回
第1回

- 開催日: 令和6年4月20日(土)
- 場所 : 中央公民館
- 参加者: 佐倉市民 50名

2024年4月から8月にかけて公共施設の適正な配置を検討するための市民ワークショップを4回に渡って実施します!

市長あいさつ

ワークショップ開催にあたり、市長より参加者の皆様へあいさつを行いました。

皆さんで持続可能な公共施設にしていきたいと思います!



公共施設マネジメントゲームの説明

公共施設マネジメントゲームの開発者である(一財)地方総合整備財団 公民連携アドバイザーの西尾真治さんにお越し頂き、全体回の進行役とゲームの説明を実施しました。



公共施設マネジメントは深刻な問題!

市民の皆さんがアイデアを出しあって協力しないと解決できません!!



西尾 真治さん

シンクタンクで全国の自治体のまちづくり・公共施設マネジメントを支援

けっこう難しい...

各班でワーク開始!

公共施設の維持運営を疑似体験できる“公共施設マネジメントゲーム”を10班に分かれてレッツプレイ!
15年目を1ターン、30年目を2ターンとして人口、財政のバランスを見ながら皆さんは公共施設は維持できる?!

5人10班でワーク実施



各班には市の職員がファシリテーターとして進行役を務めました。
15年目の1ターンはクリアできた班も多かったですが、30年目の2ターンからは難易度アップ!

30年目は人口減少と財政難が加速



ゲーム終了後は、各班でゲーム結果の振り返りを紙に書きだして意見交換を行いました。



にがんばった

ゲーム結果の振り返り

ゲームをクリアできたのは10班中3班のみ!“納得のいくまちづくり”が出来た班はなし!ゲームを通じて公共施設の維持の難しさを学びました。

市の現状説明

佐倉市資産経営課より“公共施設をとりまく現状について”説明を実施。
説明後、各班で“これからの佐倉市に向けて”思ったことを話合いました。

先生からの講評

第2回、第3回の各地域回において全体の進行役を担当して頂く千葉大学の柳澤要先生、湯浅かさね先生に講評を頂きました。地域回からよろしくお願いします!

住民が主体になって考える“ボトムアップ”の仕組みが重要

皆さんワークの後半は“まちづくり”の話題になっていました!



市の説明を聞いた感想を班で発表



柳澤先生



湯浅先生



参加者の声

市に頼るばかりではなく自分でも考える事が重要だとよくわかった。(70代)

他地域の人と意見交換ができたのは良かった。(60代)

ゲームで楽しめてよかった。また来たい。(10代)

市民の意見をきいてまちづくりをしてくれる市の姿勢がとてもありがたいです。(40代)